

2021年6月21日発行

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙

神奈川イグレンニュース〈第219号〉

発行：神奈川県異業種連携協議会（議長 金究武正）

発行責任者：専務理事 芝 忠 編集：事務局長 愛賢司

〒231-0015 横浜市中区尾上町 580 神奈川中小企業センタービル 7F

TEL/FAX 045-228-7331 <http://www.kanagawa-igren.com>

第82回アジアビジネス探索セミナーのご案内 （ページ2）

激変するアジアを追いかけてみませんか

新会員紹介「皆様、はじめまして。石垣直也と申します」（ページ4）

東日本大震災から十年、復興支援活動に対する岩手県知事

からの感謝状 （ページ6）

2021年版『中小企業白書』で事例紹介されているコロナ禍のもとで頑張る中小企業—「不況期に自社を見つめなおし、あえて投資や教育に取り組み次の戦略を描く企業」 （ページ7）

激変するアジアを追いかけてみませんか

アジアを活用した新しい企業、日本人の生き方を探る

- アジアビジネス探索セミナー 発行人 増田 辰弘
-

毎月のようにアジアに出かけておられますと、気が着くのは変化が大変大きなアジア経済です。新しいビジネスの流れをゲストを招いたかたちで探索する「アジアビジネス探索セミナー」を企画いたしました。ご興味をお持ちの方はぜひご参加ください。

第82回 アジアビジネス探索セミナーのご案内

日時 2021年9月17日(金) 18:00-20:00
場所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F
(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989
ビジネストランスファー会議室(東京駅八重洲北口徒歩1分)

1 現在の香港ビジネスの現況と今後の日系企業の動向

— 香港におけるビジネスのハブ機能は生き残れるのか —

(株) ジャパンアセットマネジメント

ファイナンシャルアドバイザー 小島 圭介

2 アジアで動くデジタル通貨

(1) カンボジア中銀のデジタル通貨の導入状況

ソラミツ(株) 社長 宮沢 和正

(2) 中国の人民元デジタル通貨の動向

(株) ユニファイドブレイン社長 粕谷 重雄

3 会費 3,000円

(当日、受付でお支払いください。)

※ お申し込み/お問い合わせ先

氏名とさしつかえなければ、所属先、部署・役職、ご連絡先を明記の上、メールあるいはFAXで事務局までお申込ください。事前の申込をお願いいたします。

◆メール配信について

このセミナーはアジアビジネス探索セミナー開催実行委員会が主催しています。

※ ◇◇9/17(金)18:00～「アジアビジネス探索セミナー」参加申込書

氏名:

会社名:

部署/役職:

TEL:e-mail:

※ 送付先・ アジアビジネス探索セミナー事務局
090-4124-2496 FAX03(3659)7077

e-mail. i-daruma@igarashireport.com

第83回11月19日(金)、第84回3月18日(金)第85回5月20日(金)、第86回9月16日(金)、第87回11月18日(金)

次々回の予定 第83回 アジアビジネス探索セミナー

日時 2021年11月19日(金)

18:00-20:00

場所 中央区八重洲1-8-17 新槇町ビル6F

(八重洲地下街18番出口直通) 03(5542)1989

ビジネストランスファー会議室(東京駅八重洲北口徒歩1分)

アジアビジネス探索セミナーのホームページを変更いたしました。

<https://asiabizx0188.web.fc2.com/book.html>

<https://sites.google.com/view/ajiabusinessexploreseminar/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0?authuser=1>

ユーチューブチャンネル「アジアビジネス探索セミナー」

https://www.youtube.com/channel/UCQm_z7lp-sdBdeK8aiJ-FXA

皆様、はじめまして。石垣直也と申します。

今回は、この場をお借りして自己紹介をさせていただく機会を提供くださり大変感謝申し上げます。



【自己紹介】

経歴含めて私の自己紹介をさせていただきます。

1982年 宮城県仙台市で生まれました。

私が育った街は仙台から一番近いと言われる温泉がある街で小さいころから物心つくまで川、山、田んぼ、畑などが主な遊び場でした。

高校生ぐらいからパソコンに興味を持ち始め、最初に購入したパソコンは自分で組み立てる自作PCでした。

高校卒業後これからはパソコンを利用した仕事を中心になってくると思い、情報システム科がある専門学校へと進学しました。授業で習うことと、インターネットの世界に魅了され、特にインターネットラジオの世界が楽しく毎日2時間以上聞いてくれる方向けに配信などを行ったりしていました。

専門学校を卒業したあとは、修士課程修了を目指すため、フィルム印刷という仕事に就きましたが仕事が大変過ぎて大学は中退し、仕事も辞めて改めてシステム開発会社に就職いたしました。システム開発会社では、主に企業内で利用する業務システム開発というものに携わせていただき、特に医療系会社様が多く、国内大手内視鏡メーカー様、外資系製薬メーカー様が社内で利用するシステムの社内システムエンジニア支援業務を長年経験しました。

独立するまで努めていた企業では、未上場から上場するまでの社内内部統制構築、システムを活用した業務効率改善、営業トレーナ、営業企画など多岐に渡る業務に従事いたしました。

【事業紹介】

2019年に個人事業主として独立し、システムエンジニアとしてシステム開発からシステム運用、工程管理、企画制作、システムセキュリティ対策、会社ホームページ作成、SNSマーケティングなどシステム開発に関わる業務全般に携わらせて頂いております。

諸先輩方から「個人事業主より株式会社の方が社会的信頼性は高いから法人化を検討しなさい」とアドバイスをいただいております、近い将来法人化することを考えております。

これから特に注力していく事業としては「システムエンジニア向けコミュニケーションスキル向上研修事業」です。

これまで幾多あるシステム開発に携わって来ましたが、システム開発現場の職場環境が悪く、メンタルヘルスに異常を訴える方を多く見てきました。実際、システム開発現場ではコミュニケーションミス・ロスが発生し会話をするこさえ嫌になり、メールやチャット（業務効率改善の場合も）でコミュニケーションを済ませる。という方も多いです。

私自身も営業トレーナの研修を受けるまで、どちらかというコミュニケーションが苦手なタイプであったと振り返ることができます。

しかし、コミュニケーションする際にある一定のルールを守って接することでコミュニケーションが円滑になり、自分が伝えたいことが伝えられるようになり、これまで苦痛であると感じていた環境で心地よく過ごすことも可能になります。

【これからの豊富】

私には夢があります。それは、システムエンジニア現場で見かけるミスコミュニケーションを減らし、システム開発現場が明るくなり、メンタルヘルスの健康維持をすることです。

そして、これから IT 導入を検討している企業様に対して、これまで経験してきたことや培ってきた社内システムエンジニアの知識を生かし不要なシステム投資をすることなく、その時に最適なシステム投資が行えるように支援することです。

最後に私の社会的な活動と連絡先について紹介させていただきます。

公益社団法人 日本青年会議所

2021年度関東地区神奈川ブロック協議会

かながわ発信委員会副委員長

Email flame.rockwall@gmail.com

090-3692-6154

皆様よろしくお願ひ申し上げます。



岩手県
岩手県盛岡市内丸10番1号

御支援いただいた皆様へ

謹啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

日本中、世界中が深い悲しみに覆われたあの日から、
令和三年三月十一日で十年を迎えます。

今日まで、日本中、世界中の皆さまから、大きく、温かい支援、励ましをいただき、私たちは、復興への歩みを一步步、着実に進めてきました。

この十年間に、皆さまからいただいた支援、励ましを私たちは忘れません。

御支援いただいた皆さまにあらためて感謝の思いをお伝えいたします。本当にありがとうございました。

皆さまとのつながりを岩手の永遠の財産にし、交流・絆を一層深めながら、復興そして地域振興の力につなげて参ります。

私たちは、これからも「いのちを守り 海と大地と共に生きるふるさと岩手・三陸の創造」を掲げ、より良い復興の実現（ビルド・バック・ベター）に県民みんなで力を合わせ取り組んで参ります。

皆さまからのこれまでと変わらぬ御支援をよろしくお願いいたします。

謹白



令和三年三月

岩手県知事

達増拓也

復興支援ありがとうございます

10年前の東日本大震災後の復興支援活動として、イグレンでは独自のネットワークを活用し、廃棄対象になっていた機械備品を釜石市の被災した中小企業者に提供する等の支援活動を行いました。重量物のため搬送費用が大変でしたが、目的が復興支援だということで、県が全面的にバックアップしてくれました。まだまだ本格的な復興への道のりは大変だと思いますが、大災害の教訓を風化させないためにも今後も連携を進めていきたいと思っております。

事例2-1-3：株式会社樹研工業

「不況期に自社を見つめ直し、あえて投資や教育に取り組み次の戦略を描く企業」

・所在地：愛知県豊橋市 ・従業員数：80 名 ・資本金：7,900 万円

・事業内容：プラスチック製品製造業

射出成形のソリューションメーカーとして医療分野にも進出

愛知県豊橋市の株式会社樹研工業は、100 万分の1 グラムの精密歯車やナノ切削加工を得意とする射出成形の極小樹脂部品加工メーカー。オイルショック以後は、小物部品に焦点を絞り、精密機構部品を多く製造してきた。近年は、光学部品や医療機器部品などを戦略的に増やしてきており、現在は医療分野の構成比が全体の売上高の30%を占める。

感染症流行下では、2020 年7月・8月の全社売上高が前年同月比で80%減になったのを底に、2021 年2月時点では前年同月比で10%減まで回復しており、今後も回復は進むと予想している。利益率が高い医療分野が、収益を下支えしている。

外部環境が厳しい時にこそ投資は継続する

不況に耐性のある企業として周囲から評価される一因としては、自己資本比率の高さがある。同社は先代の頃から現在まで安定して50%前後の自己資本比率を保つ。その背景には、厳しい事業環境下でも投資や教育を継続し、成長を続けてきた歴史がある。

先代社長の時代、リーマン・ショックや東日本大震災の際に事業が伸び悩む中、あえて投資を継続し、事業の幅を広げることで成長を実現してきた。現在の松浦直樹社長も、独自の考えの基に、設備投資や人材投資の更なる強化を図っている。強みである超精密切削加工技術をいかしてCERN（欧州合同原子核研

究機関)の加速器プロジェクトに参画するなど、常に新分野に挑んでいる。

また、人への投資も重要と考え、感染症流行下では受注減で一時的に業務量が減った時間を活用して、若手社員を中心に射出成形を基礎から学び直してもらえるよう、オンラインセミナーの受講を推奨したり、外部講師を招いての学習機会を増加させたりした。社員からは顧客ニーズに合わせた新しい提案など早速学習の成果が出てきている。

時機を捉え、課題解決策や新規事業案などを具現化

同社は不況期に限らず、常日頃からアイデアを探し、「宿題」としてリストにしている。松浦社長は、平時は安定しているので、できるだけ顧客視点での操業に集中する一方、不況期には内部改革を進め、その上で出てきた課題解決策や新規事業案などを具現化していくチャンスと捉えている。「投資に踏み切るタイミングは『やろう』と思った時がタイミングだが、その意思決定に向けて、社員とともに課題解決策や新規事業案をじっくり考えることが重要。感染症の流行のように大きな出来事の後には、社会通念や価値観が変化する。今はその変化に適応していくために、戦略を見直して投資機会を見定める期間だと思っている。」と松浦社長は語る。